

C-BCM

Cataler Business Continuity Management



2019

健康経営優良法人

Health and productivity

ホワイト500

職場での感染対策

- 風しん感染の経験から -

触媒で地球とクルマをつなぐ



Copyright © CATALER CORPORATION. All Rights Reserved.

2019年 8月 31日
株式会社 キャタラー

1. 会社紹介



所在地 : 静岡県 掛川市

従業員 : 日本 1,065人 (2019. 4)

事業展開 : 海外 9 サイト 2,500人

業務内容 : 排気ガス浄化触媒、環境保全製品
研究開発・製造・販売



キャタラー本社全景

BCM : 事業継続マネジメントの取り組み

東日本大震災を機にスタート

1. 地震、津波、原発 対応
2. 火事、洪水(台風)

3. パンデミック 感染症への意識はあったが・・・

⇒ ISO 22301認証取得 [2014年]

2015年 4月 1日：風しん発症（発疹・発熱・目の充血）

感染時期： 3月 12日以降（発症3週間前～） ？

感染経路： 不明 … 後から考えると…

推定経路： 期末で海外出張者の帰国ラッシュ

海外から不顕性感染者により持ち込みか ？

発症者は海外渡航歴無し

職場での初動（1）

風しん感染者 ⇒ 当社保健師 ⇒ 関係機関の支援要請

- 静岡県西部保健所 来社・直接指導
- 国立感染症研究研 対策等の指導・アドバイス



「先天性風しん症候群」への対応強化
マスク着用、集団活動自粛など

職場での初動（2）

- ① 全従業員への説明
- ② 妊婦・パートナーへの対応
- ③ 感染者の詳細行動、接触者調査 …… 感染拡大への備え

企業としての責任

- 従業員の安全・安心確保（最優先事項）
- お客様への製品供給継続 [BCM]

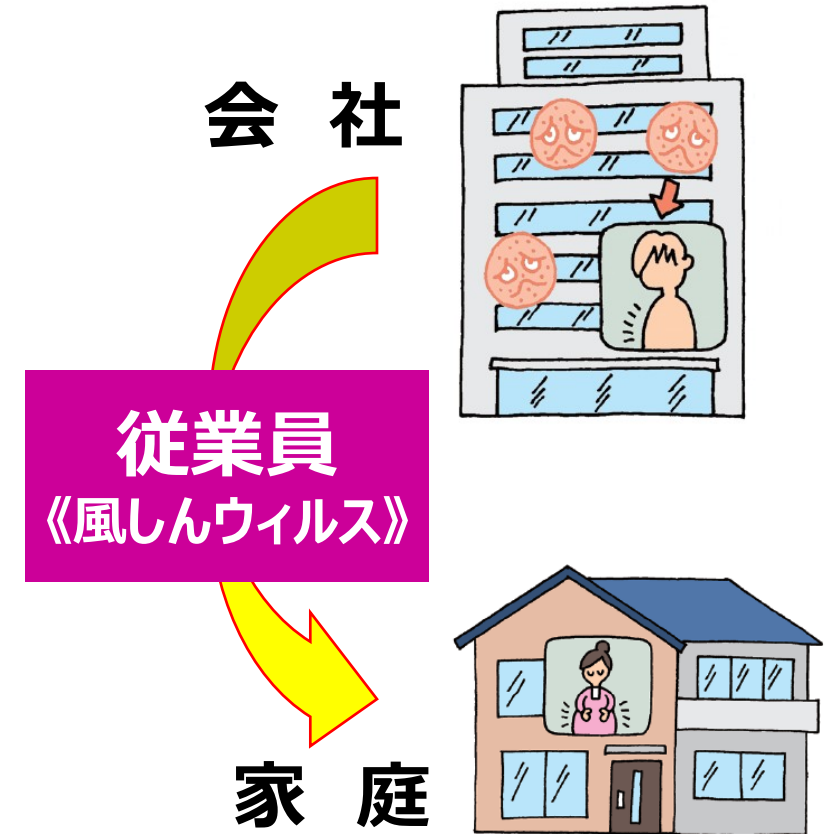
3. 2015年の対応

(1) 全従業員へ緊急説明会

なぜ職場で風しん予防が必要なの？



600名以上が出席 欠席者には社内広報で説明



① 大切な 家族やパートナーに感染させてしまうかも？

② 「多数の感染者による事業の中断」となってしまうかも？

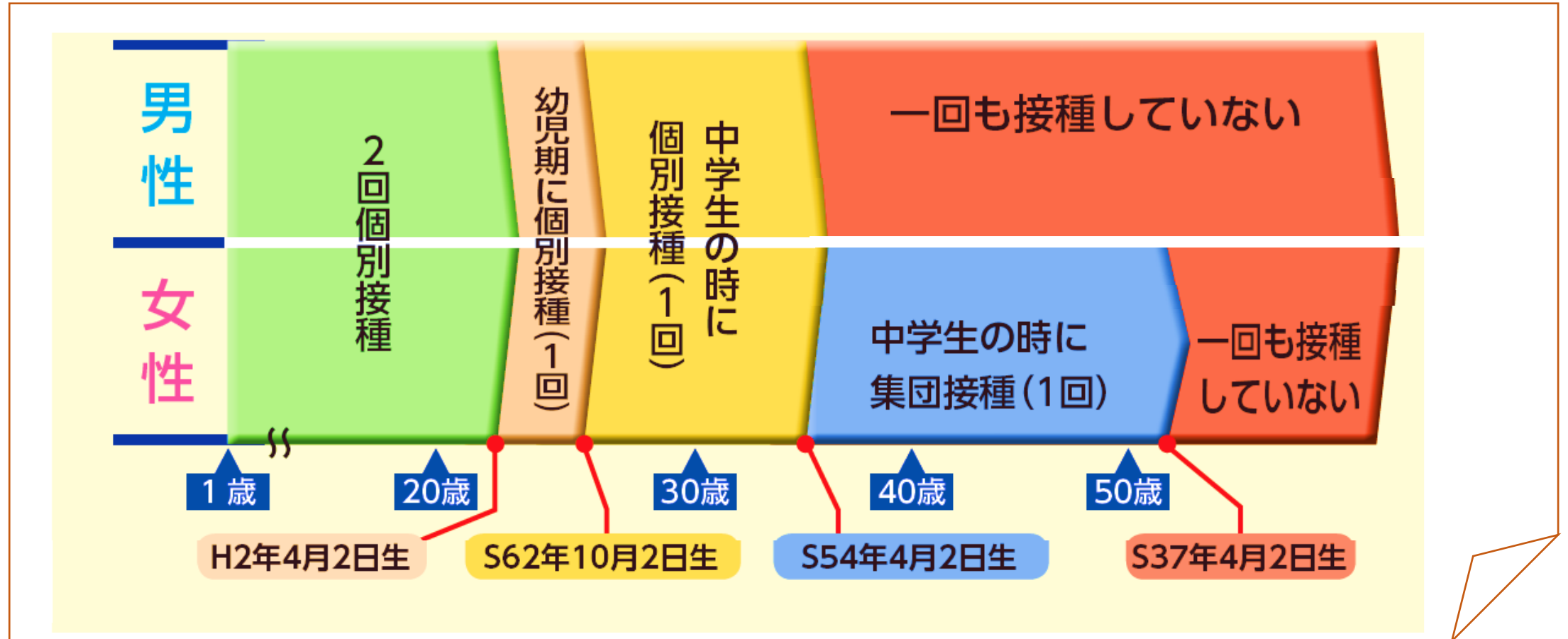
風しんについての周知徹底

- 症 状 発熱、発しん、リンパ節の腫れが症状の特徴
- 潜伏期間 発症から遡って14日～
- 感染力 **強い：インフルエンザよりも数倍強い**
- 感染経路 咳やくしゃみ・唾液のしぶきで感染
- 胎児への影響 **「先天性風しん症候群」の可能性
家族、兄弟姉妹、孫、同僚への影響
● 自分事 として捉える**

3. 2015年の対応

正しい情報の周知徹底

国立感染研「職場における 風しん対策ガイドライン」活用



年代と性別により接種に大きな違い・・・**自分が感染源となる恐れ**

(2) 妊婦・パートナーへの対応

対象者

- ・妊婦、妊娠の可能性のある女性・パートナー・ご家族がいる方

緊急対応

- ① 抗体検査 **妊娠初期で抗体無し 1名**
 - **会社規則変更**
 - ・ **妊婦本人** : **出勤免除 (終息まで公休扱い)**
 - ・ **パートナー** : **医師判断で出勤免除(公休扱い)**
- ② 個別相談 (社内保健師) – 相談者 27名



(3) 感染者の行動調査

感染者の3週間前からの行動調査、接触者リスト

濃厚接触者へ「**健康観察票**」記入依頼

- ・体調変化
- ・体温測定

体調変化のあった社員は、連絡後に医療機関へ -- 13名が受診

(4) 全社対応 - - - 第1発症直後から開始

- ① **マスク着用**
 - ・従業員全員
 - ・来訪者へ協力依頼（ロビーなどにマスク常備）
 - 手洗い、うがい等
- ② **事業活動の制限**
 - ・客先等への訪問自粛
 - ・来訪の取りやめ依頼
 - ☛ TV会議、電話会議の活用
- ③ **イベントの中止**
 - ・創立記念式典
 - ・各種講演会
 - ・軽スポーツ大会
 - ・労働組合行事等
 - 人が集まるものは **すべて中止か延期**

事業活動の大きな支障となってしまった

(5) 感染の拡大

二次感染者 3名発生 4月17日前後(第1発症者から2週間)
すでに「**待ったなし**」の状態, **際限なく拡大する恐怖**

会社として何をすべきか？

- ・ **健康観察票は全員記入へ**
- ・ **抗体確認 と MRワクチン接種を決断**
全員の抗体保有を推進
(費用より、従業員の安心と事業活動維持が重要)

実行への阻害要因と対応策

阻害要因	対応策	実施
1)医療機関の選定	協力医療機関との連携	3機関・集団接種
2)接種時間の確保	就業時間に接種	業務認定
3)検査とワクチン接種(2回)	MRワクチン接種(検査無)	妊娠の可能性の方：抗体検査
4)費用	費用の一部負担	7割 会社負担

協力いただいた医療機関：主に近隣 3 医療機関 と その他機関

3. 2015年の対応

ワクチン接種風景



- ・貸切バスで医療機関に送迎
就業時間内にワクチン接種
- ・各人 社用車等乗り合いで接種



医療機関での集団接種の状況(バスで送迎)



社内での集団接種の状況(医師来社)

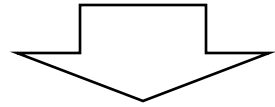
ワクチン接種の結果・・・

風しんワクチン接種率 27%(236名) → **92%(818名)** 2015年5月現在
費用：300万円

問題点

- ・70名が接種に同意してくれなかった
- ・「抗体有り」：記憶に基づく自己申告・・・正しい申告か？
- ・接種しない人：費用よりも 時間と回数がネック

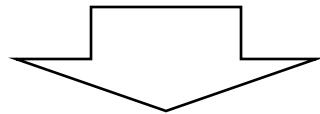
三次感染者 1名 発生 5月5日(二次感染者発生から2週間後)



- ・拡大防止継続 × ワクチン接種 × 5月連休 ⇒ **感染拡大は止まった**
 - ・**6月16日 「風しん終息宣言」** … 最終感染日から6週間経過
77日ぶりに、マスク解除、正常な事業活動を再開
 - ・この77日間は、**大きな事業活動の制限**となった
- ⇒ 新入社員、中途入社者への**MRワクチン接種勧奨**を継続

2018年の流行を受けて

- 抗体保有の自己申告は正しいのか？
罹患履歴は正しいのか？ 本当に風しんだったのか？ 確認が必要！
- 2015年の未接種者は感染の可能性あり

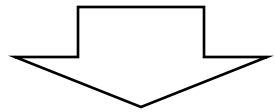


会社として2度と風しんを発生させないために

- ① 正確な調査で、抗体保有の再確認 ⇒ ワクチン接種
- ② 2015年の未接種者への対応

*1

- 対象者の決定**
- ① 2015年感染者 5名 (当時30～58歳の男性)
 - ② 2回接種世代でも、1回しか受けていない人がいる



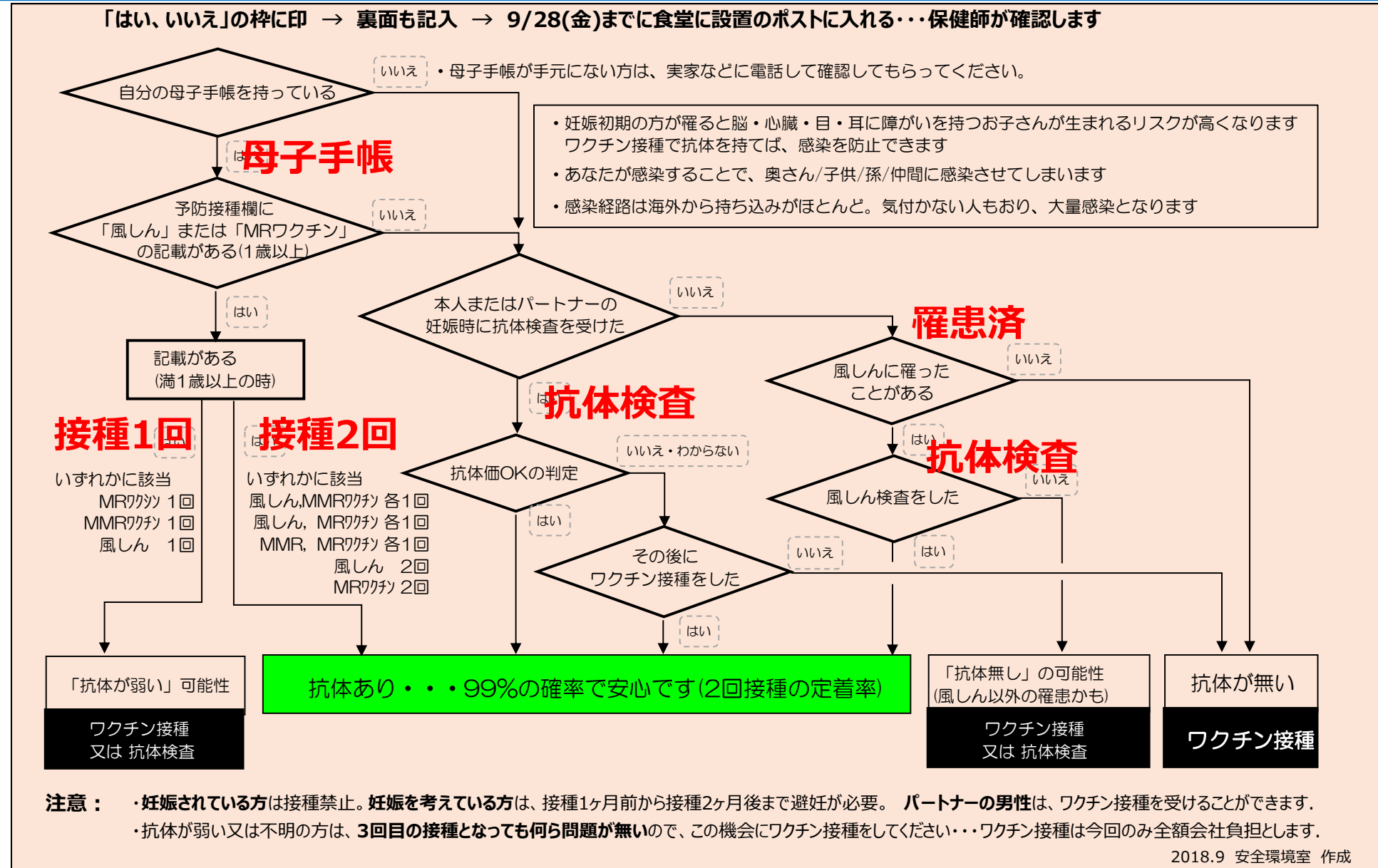
- 男女すべて・全年齢が対象
- 母子手帳・抗体検査の結果で判定
- 2回接種者、抗体検査結果を持っている人以外は「**接種必要者**」
罹患記憶、接種記憶だけの人は「**接種必要者**」に区分

*1 S32年～S60年生まれの人が感染した

4. 2018年 流行への対策

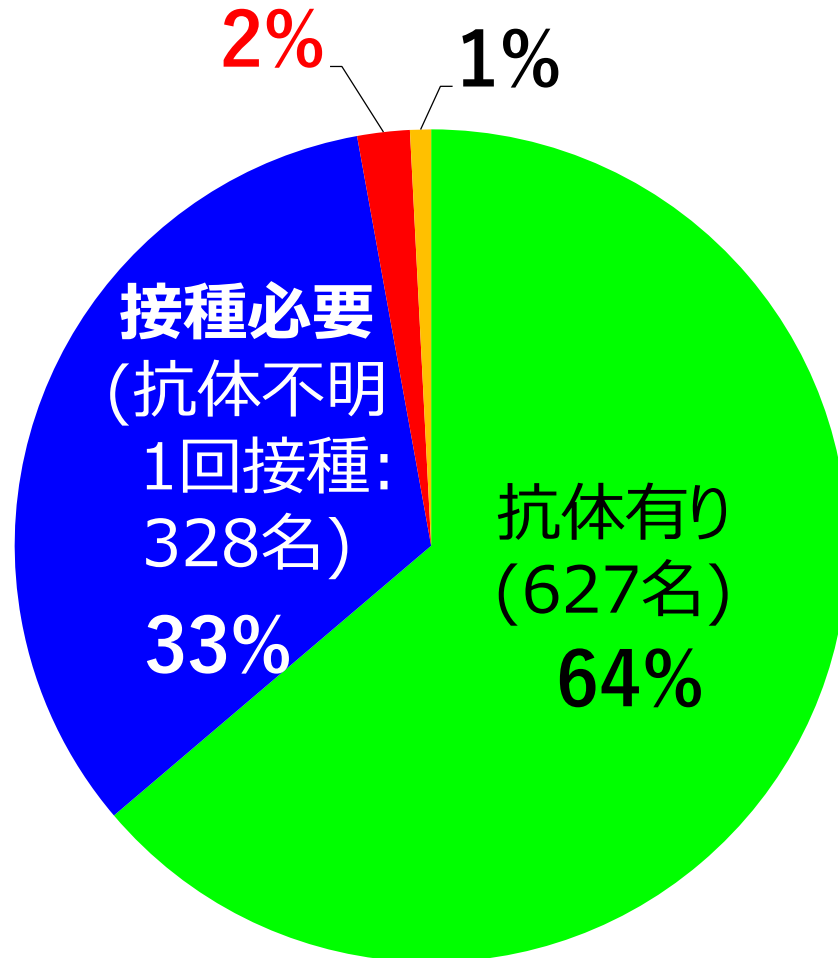
抗体再調査 (対象：全員)

フローシートによる判定



【調査結果】

接種不同意(20名) 医師の診断(8名)



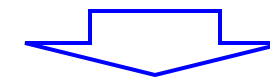
接種必要者：

- ① 抗体不明者
- ② 罹患記憶だけ
- ③ 1回だけのワクチン接種者
- ④ 前回の接種不同意者



④の方への対応：

- ・保健師による対面での説明
- ・同意の取り付け



348名 ワクチン接種を実施

(希望328名 + 同意20名)

実行への阻害要因と対応

阻害要因	対応方法
1) 検査とワクチン接種(2回)	抗体検査無しでMRワクチン接種 (1回で完了)
2) 受診時間の確保	社内接種 (医師の来社) 、業務時間に実施
3) 費用	全額会社負担 (接種義務の醸成)

最も苦勞した点： 来社いただける医師を見つけること

静岡厚生病院:田中敏博先生、 磐田在宅医療クリニック:福本和彦先生 に
ご協力いただき、社内でのワクチン接種に至った

キャタラー社内でのワクチン接種の実施

問診票事前配布
受診前に記入



検温・記入チェック
保健師から指導



順番待ち
待ち時間:健康教室



問診票確認
ワクチン接種



(社員撮影)

医師の問診と注射：35秒/人

各人の離業時間は、約10分

100人/時間 接種実施

結果

2019年 風しんワクチン接種率 99.2%

- **MRワクチン接種済： 麻疹に対しても安心**
- **健康や疾病に対して 従業員のリテラシーアップ**
- **会社への信頼感向上**

① 風しん・麻しん抗体保有の継続(新入・中途入社者)

② 社内での予防接種、健康診断の拡大

- ・インフルエンザ予防接種 (社内/業務内) 2017年～
- ・婦人科検診 (社内/業務内) 2018年～

③ 効率的な運営

- ・「待ち時間ゼロ」の健診や予防接種の実施
 - ・定期健診とストレスチェックの同時開催
- ⇒ 確実な健診と離業時間のミニマム化

社内健診の効率的な運営（キャタラーでの実態）



受付

（受診時間チェック）



受診待ち

（指定時間の椅子：
早い者勝ちを無くす）



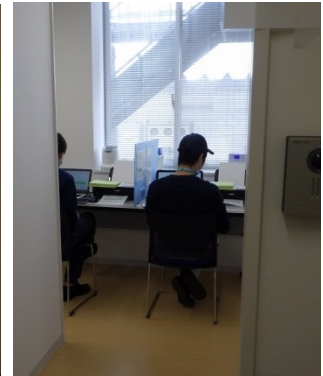
健診風景

（待ち時間ほぼゼロ）



健診⇒ストレスチェック

（一連の流れで
離業時間短縮）



いろいろな工夫をしながら、健康維持と業務の両立を図っています

拡大防止よりも**発生防止(ワクチン接種)**が重要

- ・発生してからの対策では手遅れ.
- ・費用は一過性. 発生後のデメリットの方がはるかに大きい.

安心職場の構築は、**企業の社会的責任(CSR)**である
事業継続(BCM)として、「感染の未然防止」を目指す

「風しんゼロ」は、ワクチン接種で達成可能です.
皆様のご参考になれば幸いです.

C-BCM

Cataler Business Continuity Management



2019

健康経営優良法人

Health and productivity

ホワイト500

職場での感染対策

- 風しん感染の経験から -

空気より、もっときれいな空気を
その思いから生まれた触媒です。



触媒で地球とクルマをつなぐ



Copyright © CATALER CORPORATION. All Rights Reserved.

27/27

2015年当時の感染者詳細

年齢は当時の年齢

日付	順番	感染者		
		性別	業務エリア	感染ルート
4月 1日	1人目	男(47歳)	事務所3階	不明
4月16日	2人目	男(38)	↑	おそらく社内
4月17日	3人目	男(42)	↑	↑
4月19日	4人目	男(58)	↑	↑
5月 5日	5人目	男(30)	他	↑

